

『モジュール化版』装備リストVer. 1.2 《夏》

顔・頭部・頸部

- ☐ 帽子は絶対に忘れずに
(UVカット素材製で耳や鼻の日焼けを防げるハット型がベスト)
- ☐ サングラス
(屋外移動・待機の時間に強い陽射しから目を守ろう)
- ☐ ストールやスポーツタオル
(首を日射に晒すと体温が急激に上昇するので首を覆う)
- ☐ 日焼け止め
(男女関係なく使用推奨。耳の後ろなども塗り忘れないように)

帽子を被らず、日傘もささずにいくら団扇であおいでも、携帯扇風機を使っても、ネッククーラーを着けても効果は半減以下です！

まずは全員帽子を被り、できれば日傘も用意しましょう(日傘は列が動く際などには開けるようコミケスタッフから指示があります。その際には周囲に危険を及ぼさないように閉じて下さい)。

屋外移動・待機時は身体に直射日光を当てないことが鉄則です。

TOPS

- ☐ 綿100%【以外】の衣服を
(UVカットや速乾繊維など、少しでも陽射しや汗のストレスが低減できるもの)
- ☐ 完全UVカット素材以外の生地なら【黒】は避ける
(紫外線遮断効果は高いが、黒は熱を集めやすいので屋外待機では不向き。汗垢も目立つので周囲への配慮の面でも)
- ☐ 遮光・遮熱素材の極薄手の上着を是非1枚用意しておこう
(日射を直接肌に受けるのは熱中症防止に悪手、日除け上着必須。冷房対策にも)

腕部

- ☐ 薄手の上着やシャツで覆うか、アームカバー類を着用
(日焼けしやすく、かつ汗を多くかく部位なので混み合ったホール内など他者と接触しかならない状況では互いに不快な思いをしないように、腕を出すならこまめに汗を拭こう。今までたくさん出ていた腕の汗がびたりと止まったら熱中症になりかかっているのに要注意)
- ☐ 屋外待機中は腕にも日除けを
(面積が大さいので直射日光を受け続けていると体温がどんどん上がるので首とともに上着、ストール、スポーツタオルなどで陽射しを防ぐ)

INNER&UNDER

- ☐ 綿100%【以外】の下着・肌着推奨
(綿素材は汗や雨で湿ると乾かず、肌に張り付いて不快なので化繊系推奨)
- ☐ キャミソールやタンクトップは避ける
(肩紐状のインナーは重い鞆を肩に掛けると燃れ食い込み肌を傷つけることも)
- ☐ Tシャツでもインナーは着よう
(Tシャツ1枚だけより極薄手やメッシュ地のインナーを重ねた方が快適)

※接触冷感素材・速乾素材など様々な夏用インナーがあるので自分に合うものを探そう。
肌質によっては化繊が合わないことも。綿でも混麻・竹繊維など乾きやすくなったものを！

BOTTOMS

- ☐ 何度でも言うが綿100%【以外】のパンツ・スカート
(特にGパンは暑く、乾かず、動きにくく、臭うこともあるので絶対に避けよう)
- ☐ 脚を出すボトムスならUVカットのストッキングを履こう
(日焼け止めに脚全体にむらなく何度も塗り直すのは難しい。ケガ防止にも)
- ☐ 靴下はヒザ下までである速乾化繊製を推奨
(ヒザ下の脛部を締めると歩行疲労が低減でき、足首も日焼けしなくて済む)

※万が一ゲリラ豪雨などに遭遇して濡れてしまった場合でも、ボトムスを着替えるのは困難なため、できるだけ乾きやすい素材のものを。汗や雨で濡って肌に張り付いていると、しゃがんだ際にお尻が裂ける悲劇を引き起こすことも……。

靴

- ☐ ハイキングシューズ
- ☐ スニーカー
- ☐ スポーツサンダル

※足を日焼けする、ストラップで靴擦れを起こすと最悪歩けなくなるのでファッションサンダル系は非推奨。
防水の靴か、濡れても乾く靴で。

※基本的に各カテゴリーのリスト上部のものほど必要度が高くなっています。ただし、これらの装備は全て持って行く必要はありません。自分の参加スタイルに合わせて取捨選択して下さい。